



12月園だより

令和6年12月 2日
第三ひもんや保育園園長

ある日のこと、4歳児が「ここしめまーす」と事務所の扉を閉めています。「閉めてどうするの」と尋ねると「これから、野球するんだよ」と教えてくれました。事務所の扉が開いているとボール（紙を丸めたもの）が、中に入ってしまうので閉めたかったようです。思い返せば、以前から4歳児クラスの子どもたちは、部屋から飛び出て廊下で様々な遊びを楽しんでいます。紙飛行機を飛ばしたり友達とじゃれ合いケラケラと笑っていた姿が思い出されました。野球もその遊びの中のひとつで、最初はボールを投げて打つことを繰り返していましたが、最近ではピッチャー・キャッチャー・バッターときちんと分かれ楽しむようになりました。クラスの活動日誌の中に“廊下も保育室”と記載されていた日がありました。子どもたちが“やってみたい”“やりたい”という思いに応えられるように保育士も柔軟な考え方をもちながら保育にあたっていくことの大切さを子どもたちの姿から感じています。改めて廊下に目を向けると、4歳児だけではなく各クラスが廊下という空間を工夫しながら使い子どもたちと楽しんで遊んでいました。安全面には、十分に注意しながらも、クラスを飛び出し様々な遊びが繰り広げられるようこれからも考えていきたいと思います。



行事予定

- 大きくなったね会
- しめ縄作り
- 身体計測
- 避難訓練



～お知らせ～

年末年始のお休みは12月29日（日）から1月3日（金）までとなります。



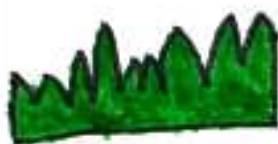
異年齢の遊び

異年齢で遊ぶ様子がたくさん見られています。園庭ではターザンロープに自分で飛び乗ることができるようになったことが嬉しくて、3歳クラスの子どもが5歳クラスの子どもに声をかけ披露していました。

0歳児クラスの子どもがタイヤの山に上っていると4歳児の子どもが落ちないように両手をさし出しています。「もうちょっとだよ」と優しく声をかけ、無事に上までのぼると「やった」と自分のことのように喜んでいるお兄さんふたりでした。

散歩の様子 ~乳児クラス~

0歳児クラス
ありんこ組



バギーに乗って散歩に出発です。道中は車や犬を見つけると「あ、あー」と指をさして教えてくれます。公園内を歩いていると、ふわふわした草を見つけました。ちゃんと触ると草が揺れ、“あっ”と目を丸くしています。保育士が「あったね、ゆらゆら揺れてるね」と声をかけると「あった、あった」と嬉しそうに体を揺らしています。それを見たもうひとりの子も近づいてきて、同じようにちゃんと触ってはくすぐったそうな表情をしたり、2人で顔を見合わせ笑い合っていました。自由に探索をしながら、子どもたちの発見に共感し一緒に楽しんでいきます。

1歳児クラス
ちょうちょ組



最近は保育士や友達と手を繋いで碑文谷グランドまで行って帰って来られるようになりました。グランド横の芝生広場に着き、保育士と一人の子が追いかけっこを始めると、他の子も次々加わって保育士を追いかけています。嬉しそうに保育士を捕まえると、今度は遠くにいる保育士や友達に向かって「やっほー」と大きな声で呼んでいました。「やっほー」「やっほー」と次々に他の子も真似し始め、声の掛け合いを楽しんでいました。友達との微笑ましいやりとりを見守りながら、たくさん“楽しいね”を共有していきたいです。

2歳児クラス
てんとうむし組



碑文谷公園にマイバックを肩から下げどんぐり拾いに岡かけました。どんぐりを探しに池を一周していると「これなに」「どんぐりの帽子だね」「小さいね」「こんな大きいよ」「〇〇さんどこにあった」「ここだよ」「変な形のどんぐりだね」と友達とおしゃべりしながらも夢中で拾っています。バックの中がどんぐりでいっぱいになると嬉しそうに見せ合っていました。大切に持ち帰ったどんぐりは、絵の具を使ってクリスマスの飾りを作りたいと思います。

